

令和7年2月6日（木） 学校朝会（放送朝会） 校長の話

おはようございます。久しぶりにアレいきます。元気ですか！？元気があれば2月も学校朝会ができる。

ということで、今日は、あるプロ野球選手の紹介から始めます。この選手、誰だか分かりますか？先生方、黒板に写真を貼ってください。

アメリカ合衆国のメジャーリーグ、野球チームのロサンゼルス・ドジャースの選手です。だあ～れだ？

大谷翔平選手ではなく、大谷選手と一緒にこのチームに入った山本由伸選手です。ピッチャーです。

山本選手は、日本のオリックスというチームから、大谷選手と一緒にアメリカのドジャースに入りました。3年ちょっと前に東京オリンピックがありました。野球で日本の金メダル獲得に貢献した選手の中の一人です。山本選手は、日本でも圧倒的な成績でたくさんの賞を獲りましたし、ドジャースでも大活躍して、ワールドシリーズでもすばらしいピッチングでドジャースの世界一に貢献しました。

山本選手は、ピッチャーです。いくら良いピッチングをしても、味方のバッターが点を取ってくれないと勝てません。山本選手が相手チームを1点に抑えたとしても、自分のチームのバッターが打って2点取らないと勝てません。

そういうときに、山本選手は何と言ったか。「バッターがもうちょっと打ってくれたら勝てたのに。」とは絶対に言いません。山本選手は「自分が0点に抑えていたら勝てたかもしれない。自分の力不足です。」と言うそうです。「自分のピッチングが悪かった。」ということです。山本選手は、味方が守備を失敗しても「あの時、風が強かったからボールを取るのは難しかったでしょう。」などと言って、他の選手を責めないそうです。うま

くいかないうことがあっても、絶対に人のせいにしないということです。

だから山本選手は超一流の選手になったのだと思います。

逆に、悪かったところ、うまくいかなかったことを人や周りのせいにする人は絶対に伸びません。自分の悪かったところを反省しないからです。人のせいにしたら自分が楽だから。人が悪い、自分には悪いところはないと言え、自分は努力しないですむから。自分は難しいことから逃げていられるから。つまりそれ以上挑戦しないから、人のせいにする人は伸びません。成長もありません。

山本選手は、「自分の力が足らなかったから、チームが負けた。」と言って、反省して次にもっと良いピッチングができるように練習をするそうです。山本選手は、難しいことに挑戦し続けています。だから、ますます上手になるということでしょう。

3学期も残りわずかです。なにか失敗したときにも、人のせいにせずに、自分をもっとこうすればよかったと反省して、逃げずに、負けずに、あきらめずに挑戦して自分を伸ばしていきましょう。今日は、何が言いたいかというと、「反省と挑戦」です。